

河川工作物影響評価表《フロー1, 2, 3》(1-1)

主項目	調査(指標)項目	川																	
		本流							盤ノ川		温泉川			ピリカベツ川					
		追1	1	2	7	3	追3	4	追2(橋)	9	追4	5	6	8、10					
		ふ化場	ふ化場	ふ化場	森管局	森管局	斜里町(橋)	森管局	斜里町	森管局	斜里町	森管局	森管局	森管局					
		0.2	1	0	2.44	2.58	0.19	2.59	2.18	1.7	1.4	4.1	5.1	2.51, 1.98					
1. 河川工作物以外の 遡上、生息阻害の有無	①滝(落差)	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害あり	阻害あり	阻害あり	阻害あり	阻害なし					
	②pH	—	—	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	—	—	阻害あり	阻害あり	阻害なし					
	主項目1の評価	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害あり	阻害あり	阻害あり	阻害あり	阻害なし					
		フ							ロ			2		へ		進		む	
2. 河川工作物が主原因か	①河川工作物の落差と越流水深	遡上可能	遡上困難	遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上可能	遡上困難	遡上困難						遡上困難				
	②プール水深と広がり	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	どちらともいえない					どちらともいえない				
	主項目2の評価	遡上可能	遡上困難	遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上可能	遡上困難	遡上困難						遡上困難				
		現状維持	フロー3へ進む	現状維持	フロー3へ進む		現状維持	フロー3へ進む					フロー3へ進む						
3. 上流の遡上・産卵・ 生息環境の有無	①水面幅(平水時)			環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり						環境あり				
	②水深(平水時)			環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり						環境あり				
	③河床の組成			環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり						環境あり				
	④河川形態			環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり						環境あり				
	⑤濁水の混入の有無			なし	なし	なし	なし	なし	なし						なし				
	⑥水温			—	環境あり	—	—	環境あり	—	環境あり						環境あり			
	⑦河川内の礫上のスギゴケの有無			なし	なし	なし	なし	あり	—						—				
	⑧湧水			—	—	—	—	—	—						—				
	⑨河畔林率			中	大	大	大	大	小						大				
	⑩枝沢の有無			なし	なし	なし	なし	なし	なし						なし				
	主項目3の評価			環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり						環境あり				
		次のフローへ進む		次のフローへ進む		次のフローへ進む					次のフローへ進む								

河川工作物影響評価表《フロー1, 2, 3》(1-2)

主項目	調査(指標)項目	イワウベツ川					モセカールベツ川											
		赤イ川																
		1 斜里町 1.5	11 森管局 2.08	12 森管局 3.22	13 森管局 3.15	追5(開発局)より上流	1 北海道 1.37	2 北海道 1.26	3 北海道 0.87	4 北海道 0.83	5 北海道 0.2	6 北海道 0.54	1 森管局 3.41	2 森管局 1.95	3 森管局 2.31	4 森管局 2.48	5 森管局 2.21	6 森管局 3.84
1. 河川工作物以外の 遡上、生息阻害の有無	①滝(落差)	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害あり	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし
	②pH	—	阻害なし	—	阻害なし	阻害あり	—	—	阻害なし	—	阻害なし	—	阻害なし	—	阻害なし	—	阻害なし	阻害なし
	主項目1の評価	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害あり	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし
		フ ロ - 2 へ 進 む				現状維持	フ ロ - 2 へ 進 む											
2. 河川工作物が主原因か	①河川工作物の落差と越流水深	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難		遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難
	②プール水深と広がり	遡上困難	遡上可能	遡上可能	遡上可能		遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能
	主項目2の評価	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難		遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難
		フ ロ - 3 へ 進 む					フ ロ - 3 へ 進 む				現状維持	フ ロ - 3 へ 進 む						
3. 上流の遡上・産卵・ 生息環境の有無	①水面幅(平水時)	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
	②水深(平水時)	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
	③河床の組成	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
	④河川形態	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
	⑤濁水の混入の有無	なし	なし	なし	なし		なし	なし	なし	なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	⑥水温	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
	⑦河川内の礫上のスギゴケの有無	—	—	—	—		—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
	⑧湧水	—	—	—	—		—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—
	⑨河畔林率	小	小	小	大		大	大	大	大		大	小	小	小	小	小	小
	⑩枝沢の有無	なし	なし	なし	なし		なし	なし	なし	なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	主項目3の評価	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり		環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり
		次 の フ ロ - へ 進 む					次 の フ ロ - へ 進 む					次 の フ ロ - へ 進 む						

河川工作物影響評価表《フロー1, 2, 3》(1-3)

主項目	調査(指標)項目	オッカバケ川			ルシヤ川				サシルイ川		ケンネベツ川								
		i	1	2	i	2	3	4	1	2	1	2	3	4	5	6	7	8	
		北海道 0.12	森管局 4.70	森管局 4.32	ふ化場 0.42	北海道 0.30	北海道 0.34	北海道 0.59	北海道 0.0, 1.85	北海道 0.4, 2.67	北海道 1.90, 2.80	北海道 2.80	北海道 4.10	北海道 3.50	北海道 2.70	北海道 4.20	北海道 7.40	北海道 9.50	
1. 河川工作物以外の 遡上、生息阻害の有無	①滝(落差)	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	
	②pH	—	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	—	—	阻害なし	—	—	阻害なし	—	
	主項目1の評価	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	阻害なし	
		フロー2へ進む			フロー2へ進む				フロー2へ進む		フロー2へ進む								
2. 河川工作物が主原因か	①河川工作物の落差と越流水深	遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上可能	時期によって遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	
	②プール水深と広がり	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	遡上可能	
	主項目2の評価	遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上可能	時期によって遡上可能	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	遡上困難	
		現状維持	フロー3へ進む			70-3へ進む	現状維持	フロー3へ進む		フロー3へ進む		フロー3へ進む							
3. 上流の遡上・産卵・ 生息環境の有無	①水面幅(平水時)	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	
	②水深(平水時)	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	
	③河床の組成	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	
	④河川形態	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	
	⑤濁水の混入の有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	⑥水温	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	
	⑦河川内の礫上のスキゴケの有無	—	—	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	
	⑧湧水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	⑨河畔林率	小	大	小	小	小	小	大	大	大	中	中	中	中	大	大	大	大	
	⑩枝沢の有無	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	
	主項目3の評価	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	環境あり	
		次のフローへ進む			次の70-3へ進む	次のフローへ進む		次のフローへ進む		次のフローに進む									

河川工作物影響評価表(フロー4~7)(2-1)

河川名	イ フ ウ ベ ツ 川																																			
	1 ふ化場 1.0						7 森管局 2.44						3 森管局 2.58						4 森管局 2.59																	
河川工作物名	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況						5. 下流域の保全対象の状況						6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響						4. 上・下流における流出可能土砂量の状況						5. 下流域の保全対象の状況						6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響					
主項目	①滞留土砂量		②土砂生産源		保全対象の重要性		①産卵床の保全性		②生態系の保全性		①滞留土砂量		②土砂生産源		保全対象の重要性		①産卵床の保全性		②生態系の保全性		①滞留土砂量		②土砂生産源		保全対象の重要性		①産卵床の保全性		②生態系の保全性							
	中		小		/		中くらい				中		中		高い		中くらい				中		中		高い		中くらい									
その他参考事項	過去に10~15年おきに土石流が発生しており、昭和54,56年に激甚災害を受けている。																																			
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々の全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価						現状維持が適当						現状維持が適当						過去に10~15年おきに土石流が発生しており、昭和54,56年に激甚災害を受けている。 下流側の工作物(7. 3(森林管理局))の「現状維持」と併せて考えて現状維持が適当。																	

河川名	イ フ ウ ベ ツ 川																																			
	盤ノ川						ピリカベツ川						赤イ川																							
河川工作物名	追2(橋) 斜里町 2.18						8, 10 森管局 2.51, 1.98						1(導水管) 斜里町 1.5						11 森管局 2.08																	
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況						5. 下流域の保全対象の状況						6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響						4. 上・下流における流出可能土砂量の状況						5. 下流域の保全対象の状況						6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響					
評価項目	①滞留土砂量		②土砂生産源		保全対象の重要性		①産卵床の保全性		②生態系の保全性		①滞留土砂量		②土砂生産源		保全対象の重要性		①産卵床の保全性		②生態系の保全性		①滞留土砂量		②土砂生産源		保全対象の重要性		①産卵床の保全性		②生態系の保全性							
	中		中		/		中くらい				大		小		高い		中くらい				中		小		高い		中くらい									
その他参考事項	昭和54,56年に激甚災害を受けている。直上流には土石流による巨礫が貯留している。																																			
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々の全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価						下流にある工作物(7. 3(森林管理局))の「現状維持」と併せて考えて現状維持が適当。						昭和54,56年に激甚災害を受けている。既に魚道が設置されている。						昭和54,56年に土石流が発生しているが、他の本支流に比べて軽微である。																	
							既存の魚道の改修を含め改良の検討を行うことが適当。						防災目的の施設ではなく、上流に産卵可能な環境があることから改良の検討を行うことが適当。						他の本支流に比べ、堆積している礫経が小さく、巨礫も少なく、河床勾配の緩い比較的安定している河川であることから改良の検討を行うことが適当。																	

河川工作物影響評価表(フロ-4~7)(2-2)

河川名	イ ワ ウ ベ ツ 川						モ セ カ ル ベ ツ 川								
	赤			イ			川			1			2		
河川工作物名	12 森管局 3.22			13 森管局 3.15			1 北海道 1.37			2 北海道 1.26					
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	
評価項目	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性
	中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい		大	大	高い	中くらい	
その他参考事項	昭和54,56年に土石流が発生しているが、他の本支流に比べて軽微である。						昭和62年の豪雨により土石流が発生し、ダム堆砂域に土石流の痕跡が見られる。								
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価	他の本支流に比べ、堆積している礫径が小で、巨礫も少なく、河床勾配の緩い比較的安定している河川であることから改良の検討を行うことが適当。				他の本支流に比べ、堆積している礫径が小で、巨礫も少なく、河床勾配の緩い比較的安定している河川であることから改良の検討を行うことが適当。				現状維持が適当			現状維持が適当		

河川名	モ セ カ ル ベ ツ 川														
	3			4			6			1					
河川工作物名	3 北海道 0.87			4 北海道 0.83			6 北海道 0.54			1 森管局 3.41					
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	
評価項目	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性
	大	大	高い	中くらい		大	大	高い	中くらい		大	大	高い	中くらい	
その他参考事項	昭和62年の豪雨により土石流が発生している。ダム堆砂域に土石流の痕跡がみられる。														
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価	現状維持が適当			現状維持が適当			現状維持が適当			現状維持が適当				

河川工作物影響評価表《フロー4～7》(2-3)

河川名	モセカールベツ川														
河川工作物名	2 森管局 1.95			3 森管局 2.31			4 森管局 2.48			5 森管局 2.21					
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	
評価項目	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性
	大	大	高い	中くらい		大	大	高い	中くらい		大	大	高い	中くらい	
その他参考事項	昭和62年の豪雨により土石流が発生している。ダム堆砂域に土石流の痕跡がみられる。														
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価			現状維持が適当			現状維持が適当			現状維持が適当			現状維持が適当		

河川名	モセカールベツ川					オツカバケ川					ルシヤ川									
河川工作物名	6 森管局 3.84					1 森管局 4.7					2 森管局 4.32					1 ふ化場 0.42				
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況	6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響	
評価項目	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性
	大	大	高い	中くらい		大	大	高い	中くらい		大	大	高い	中くらい		小	小		中くらい	
その他参考事項	昭和62年の豪雨により土石流が発生している。ダム堆砂域に土石流の痕跡がみられる。					平成2年の低気圧による大雨により河川が荒廃した。					昭和47.48年集中豪雨により甚大な被害が発生した。									
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価					現状維持が適当					現状維持が適当									

河川工作物影響評価表《フロー4～7》(2-4)

河川名	ル シ ヤ 川									サ シ ル イ 川										
河川工作物名	3 北海道 0.34					4 北海道 0.59				1 北海道 0.0, 1.85			2 北海道 0.40, 2.67							
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響			
評価項目	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性
	小	小	低い	中くらい		小	小	低い	中くらい		中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい	
その他参考事項	昭和47.48年集中豪雨により甚大な被害が発生した。									昭和41年の豪雨により河川が荒廃した。既に魚道が設置されている。			昭和41年の豪雨により河川が荒廃した。既に魚道が設置されている。							
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価		湛床勾配が緩く、滞留土砂量等も少なく比較的安定している河川であることから、改良の検討を行うことが適当。			湛床勾配が緩く、滞留土砂量等も少なく比較的安定している河川であることから、改良の検討を行うことが適当。			既存の魚道の改修を含め改良の検討を行うことが適当。			既存の魚道の改修を含め改良の検討を行うことが適当。								

河川名	ケ ン ネ ベ ツ 川																			
河川工作物名	1 北海道 1.90, 2.80				2 北海道 2.8				3 北海道 4.1				4 北海道 3.50							
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響			
評価項目	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性
	中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい	
その他参考事項	昭和40年の台風23.24号の集中豪雨で甚大な被害を受けた。																			
7. 工作物改修等に伴う防災機能等々への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価				現状維持が適当				現状維持が適当				現状維持が適当				現状維持が適当			

河川工作物影響評価表《フロー4～7》(2-5)

河川名	ケ　　ン　　ネ　　ベ　　ツ　　川																			
河川工作物名	5 北海道 2.70					6 北海道 4.10					7 北海道 7.40					8 北海道 9.50				
主項目	4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響		4. 上・下流における流出可能土砂量の状況		5. 下流域の保全対象の状況		6. 改修に伴う河川周辺生態系への影響			
評価項目	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性	①滞留土砂量	②土砂生産源	保全対象の重要性	①産卵床の保全性	②生態系の保全性
	中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい		中	小	高い	中くらい	
その他参考事項	昭和40年の台風23.24号の集中豪雨で甚大な被害を受けた。																			
7. 工作物改修等に伴う防災機能等への全体的な影響	専門家の意見を踏まえた総合評価	現状維持が適当					現状維持が適当					現状維持が適当					現状維持が適当			